

(様式4)

◆ (氏名) 竹山 哲司

<所属・職名>

東京都立六郷工科高等学校 多文化共生推進部 主任
全国国際教育研究協議会 副事務局長
外国につながる高校生のための進路ガイダンス (東京都国際教育研究協議会共催) 実行委員
公益社団法人青年海外協力協会 代表評議員

<略歴>

青年海外協力隊員 (ガーナ、理科教師) の経験を踏まえて、「国際理解」「世界の家庭料理」などの授業を担当した。また、環境教育やESD (持続可能な開発のための教育) に長年取り組み、国立教育政策研究所の教材開発研究委員などを努めた。

全国国際教育研究協議会及び東京都国際教育研究協議会の事務局長や理事として、高校生日本語弁論大会や外国につながる高校生のための進路ガイダンスの企画・運営を行っている。

現任教校においては、JSL (日本語を母語としない) 生徒への支援および日本語指導、多文化共生教育および人権教育を担当し、NPO 法人 IWC 国際市民の会と連携して推進している。東京都教育委員会の日本語指導ハンドブック開発委員を務め、多文化共生の推進、日本語理解の促進に、現任教校での経験を還元している。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

東京都国際教育研究協議会を通して、「外国につながる高校生のための進路ガイダンス」「日本語を母語としない親子のための高校進学多言語ガイダンス」の運営に関わり、外国につながる中学生や高校生などの進路保障や進路相談、多文化共生教育の推進、生徒たちの居場所づくりに取り組んできた。

高校の教育現場においては、在留資格についての教員研修、ルビふり教材や保護者向けお知らせの推進、つながりやすくやさしい日本語の普及、多文化理解の促進のためのセミナーなどを実践している。

対応可能学校種>

高等学校、中学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

■ 対応可 □ 対応不可

<その他 (国等の委員歴等) >

<関連URL>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容 (モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応)」のA~Nの書く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。